

建設の機械化

1992.1

No.503



◆巻頭言 新年を迎えて	長尾 満	1
◆建設機械メーカーの研究所		
川崎重工業 明石技術研究所	恒 成 利 康	3
神戸製鋼所 機械研究所	阿 部 亨	6
KOMATSU 建機研究所	上野山 勝・大 島 寛	11
キャタピラー テクニカルセンター	R.P. クルーズ・荒 井 實 男	16
日立建機 技術研究所	小 野 耕 三・緒 方 浩 二 郎 野 中 寿 夫・金 井 隆 史	21
三菱重工業 高砂研究所	藤 村 則 彦	25
◆ずいそう イギリス赴任後半年間の雑感	助 友 利 隆	34
◆ずいそう 西歴 2000 年元旦の初夢の対話 (a 君と b 君)	松 岡 武	36
整備新幹線建設計画の概要	高 松 正 伸	38
山梨リニア実験線建設工事の概要	宮 林 秀 次	44
温井ダム施工機械設備の概要	秋 常 秀 明・中 田 賢 範・片 岡 孝 次	50

グラビヤ—ビッグプロジェクトの現況

泥水シールド工事における自動化施工と地中接合工における位置検知工	宮 本 幸 始・山 崎 章	53
チャーミー建機推進の現況	中 村 優	60

JCMA

目 次



◆新工法紹介 11-20 除塵ロボット／11-21 エアーローラによる 重量物運搬工法／11-22 車輛管理システム (Mr. マンボー)	調 査 部 会	65
◆新機種紹介	調 査 部 会	68
◆文献調査		
文献目録紹介	文献調査委員会	71
◆統 計		
建設投資推計ほか	調 査 部 会	75
行事一覽		76
編集後記	(藤崎・石崎・穴見)	80

◇表紙写真説明◇

除雪専用ドーザ 180 S-3 東洋運搬機株式会社

昭和 39 年、18t 級車輪式専用ドーザとして開発。以来 27 年間、常にユーザーズをとり入れ、圧雪処理、拡幅、雪出し作業など国県道、多雪地帯で威力を発揮。平成 3 年度からは回走時の振動を抑制する装置を取付けられるようにするなど万能専用ドーザとしてさらに高く評価されている。

写真は昨近のリゾート開発に立遅れたかのよ

うな南会津の山村。付近は秘湯が多く、冬でも湯治客が多い。山村の生活道確保に活躍する 180 S-3 である。

〈主な仕様〉

最大走行速度	39.5 km/hr
最大けん引力	15,800 kg
総重量	19,120 kg
	(サイドスライドアングリングブラウ)
最大クリアランス	2,500 mm
ブラウサイドスライド量	左 1,000 mm, 右 300 mm
	(サイドスライドアングリングブラウ)